
ごあいさつ

20世紀最後のクリスマスイブに私達のコンサートにお越し頂きありがとうございます。
ございます。

当合唱団は1993年のサイトウキネンフェスティバル（SKF）のオペラ「火刑台上のジャンヌダルク」に出演し、合唱のすばらしさ楽しさを知った子供達が母体となって、歌うことの好きな仲間が集まり、翌年1月に発足しました。

合唱団の頭のSKはあの時の感動を忘れないようにという気持ちで、SKFの許可をもらい使わせて頂きました。その後、団員数も徐々に増え、年齢層も広がって、現在では、小学1年生から高校3年生まで、70名を越える大所帯となり、我々父母も団の運営に奮闘しております。

指導者の先生方に恵まれ、県松本文化会館の職員の方々の協力、地域の皆様の暖かい激励により、今日のコンサートを迎えることができました。

県松本文化会館での演奏会も7回目を迎えました。クリスマスコンサートとなってからは3回目となります。今回は2部構成となりました。第1部では、「日記で綴る私達の一年」と題して、今年いろいろなところで歌ってきた曲を歌いながらミレニアムをふりかえります、第2部は組曲「ぞうれっしゃがやってきた」をお聴き頂きます。卒団生が参加しての演奏も含め、バラエティーに富んだステージとなりました。

家族も全貌は知りません。我々にとっても期待とちょっと不安なステージが、間もなく始まります。子供達が力一杯歌いますので、どうか、最後までごゆっくりお聴き下さい。そして、暖かい拍手をよろしくお願い致します。